

公益財団法人 三井住友海上文化財団

令和7年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体〔10団体〕

【令和7年度選考分】9団体 助成金合計450万円

団体名	所在地	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
			交流相手	交流人数	日程	内容・目的（■印は申請書記載の事業名）	
和太鼓集団 蒼き風の民	宮城県	2011年の東日本大震災以降、子供たちのための鎮魂プロジェクトとして「青い鯉のぼりプロジェクト」が発足された。このプロジェクトで制作された映画「有り、触れた、未来」の劇中に登場する和太鼓団体【蒼き風の民】は、プロジェクトに参加する2つの和太鼓団体『創作和太鼓駒の会』と『仙臺和太鼓華空楽』で構成され、共にエンディング曲を演奏したことにより合同での活動を開始。その後、映画のPRや楽天国場でのイベント演奏をきっかけに、仙台市内の初売りで緑起太鼓の演奏や宮城県PTA連合会総会でのレセプション演奏など、現在では一つの和太鼓団体として確立されている。	ドイツ	派遣 10名	令和7年5月23日 ～6月1日 (10日間)	■SAMURAI APARTMENT&蒼き風の民 ドイツ公演・和太鼓ワークショップ 東日本大震災復興支援活動の「青い鯉のぼりプロジェクト」の活動周知と次世代双方向文化交流の持続化がテーマ。新しい日本の音楽と震災を経験しながら活動してきた想いをドイツの各地で伝えてほしいとDJG Vorderpfalzを通じて複数の招聘団体から「SAMURAI APARTMENT」へオファーをいただいた。これまで「青い鯉のぼりプロジェクトとして復興活動してきた和太鼓団体『創作和太鼓駒の会』と『仙臺和太鼓華空楽』の2団体で構成する【蒼き風の民】として、海外文化交流体験を実施する。	50万円
春日鬼組	新潟県	1931年に設立し、1932年から毎年4月に執り行う春日神社例大祭で佐渡島の郷土芸能である鬼太鼓を奉納するとともに、その氏子となる春日町地域の各世帯の門付けを実施している。1970年からは子ども鬼太鼓を開始し、2000年頃からは女性や他地域の希望者に門戸を開いたことで多様な仲間が集まり組織に活気が生まれた。2003年からは、佐渡島で毎年開催される国際芸術祭「アース・セレブレーション」において国内外の参加者に対するワークショップ等を実施。2005年にはアメリカで開催された北米太鼓会議に招待を受け、春日鬼組史上初の海外公演を実現。以降、海外と佐渡島との交流の輪を広げ続けている。	スイス イタリア	派遣 5名	令和7年9月12日 ～9月23日 (12日間)	■第12回「JAPAN MATSURI」鬼太鼓公演事業 毎年スイスで開催される「JAPAN MATSURI」に招待され、佐渡島の郷土芸能である鬼太鼓を紹介するほか、イタリア北部地域でのワークショップを開催する。日本の郷土芸能に触れる機会が極めて少ない西欧の人々に、日本の地域に根差した本物の民俗芸能の素晴らしさを体感させることが目的である。スイスなど周辺諸国から集まる来場者に、太鼓と舞が一体になった希少な芸能文化を紹介することにより、佐渡島の風土・生活文化が生んだ本物の日本に接する機会を提供するとともに、交流を通して春日鬼太鼓を見つめ直し、芸能の発展に繋げたい。	50万円
浜松市民吹奏楽団	静岡県	1975年創立のアマチュア一般吹奏楽団。アクトシティ浜松大ホールに於いて年に一度の定期演奏会を開催、その他浜松駅前のプロムナードコンサート、各施設からの依頼演奏など年間を通して演奏活動をしている。ドイツとの交流の影響を受け毎年12月に開催している「ピアノフェスト」は特に好評を得ている。現在は20代から80代まで約75名の団員で構成されている。	ドイツ オーストリア	派遣 50名	令和7年8月11日 ～8月21日 (11日間)	■創立50周年記念ヨーロッパ演奏旅行 浜松市民吹奏楽団（以下浜松市吹）は、ドイツ連邦共和国バーデン＝ヴュルテン州に位置するマルクグリーニンゲンに於いて開催される「第57回国際音楽祭」に招聘され、同期間を中心にヨーロッパ演奏旅行を実施する。浜松市吹は2025年に創立50周年を迎えるため、その周年事業としてこのツアーを企画。相手国の伝統芸術文化に触れ、親交を深めると共に吹奏楽を通して日本の文化や音楽の魅力を広めていくことを目的とする。現地では計5回の演奏を予定しており、吹奏楽作曲家としても著名な保科洋氏に新曲を委嘱。現地で初演した上で楽譜を現地吹奏楽団に献呈することにより、法人作品をより広く親しんでいただくことが期待できる。	50万円
The Band Lab Japan	愛知県	当団は「音楽を通じた国際協力&国際交流」および「音楽を通じた若者の社会教育および社会貢献」をミッションに掲げ、「国際交流活動」、「楽器寄付活動」、「音楽教育活動」を通じてその達成を目指している。「国際交流活動」としては、マレーシアで音楽教育活動に取り組むNPO法人「The Band Lab」と連携し、日本とマレーシアで吹奏楽に取り組む若者の交流企画を通じて、音楽を通じた国際交流を行っている。「楽器寄付活動」および「音楽教育活動」では、楽器の不足するマレーシアへの楽器の寄付や、地域に根差したコンサートの開催を通じて、音楽を通じた社会貢献を行っている。これまで16点の楽器をマレーシアに送り、体験型演奏会を行った。	マレーシア	招聘 15名	令和7年8月8日 ～8月13日 (6日間)	■Sarawak-Japan Band Exchange Program 本プログラムは、2025年8月9日から11日にかけて蒲郡市にて開催される「国際バンドフェスティバル」にマレーシアのThe Band Labを招聘することを目的としている。この招聘を通じ、成熟した日本の吹奏楽の技術をマレーシアに伝えるとともに、音楽を通じた文化交流の機会を創出することを目指す。同フェスティバルには、ほかに蒲郡市ジュニア吹奏楽団とグナムテリトリアルバンド、The Band Lab Japan(当団)が参加する。様々なバックグラウンドを持つ参加者が音楽を通じて相互交流し、理解を深め合い、開催場所である愛知県の文化や産業に触れる機会も作られ、発展著しいマレーシアのさらなる発展に寄与するきっかけに繋げたい。	50万円
Sorcière & Sorcière Jr.	三重県	伊勢市立五十鈴中学校合唱部及び卒業生で構成される合唱団である。中学生は週5日、中学校の音楽室で練習を行い、卒業生のSorcièreは毎週土曜日に中学校の多目的ホールで練習を行っている。中学生は、2014年から全日本合唱コンクール全国大会に9回出場し、金賞を4回受賞した。東京国際合唱コンクールでは児童合唱部門（18歳以下）で2019年から2024年まで5度出場し、5回すべてで金賞を獲得している。また、Sorcièreは全日本合唱コンクール三重県大会の同声の部で金賞を受賞し、2022年には全日本合唱コンクール中部大会で銅賞を受賞している。	エストニア	派遣 30名	令和7年8月20日 ～8月28日 (9日間)	■国際青少年音楽祭 合唱を通して国際交流を図るため、エストニアのタリン、タルトゥの二都市で、ETV girlsおよびLAULUPESA合唱団と共に合同演奏会を開催する。本事業はのきっかけは、伊勢市出身のピアニスト西井葉子氏が、伊勢市立五十鈴中学校合唱部の活躍ぶりや、指揮者の河俣和子先生のことを、EU・ジャパンフェスト日本委員会事務局長の古木修治氏に紹介くださったことである。EU・ジャパンフェスト日本委員会の支援のもと、2024年6月にエストニアへ渡航し、エストニア国際青少年音楽祭の関係者と会う中で、Sorcière & Sorcière Jr.との競演を申し出た合唱団が二団体あった。参加する団員はホームステイを通じてエストニアの生活様式を体験し、音楽を通して心を開けることを目的とする。	50万円
近江高等学校（吹奏楽部）	滋賀県	近江高等学校吹奏楽部は1960年に野球部を応援するため創部され、同窓会から楽器13台が寄贈され活動が開始された。現在では、硬式野球部の応援だけではなく、吹奏楽コンクールへの参加、幼稚園、小学校、老人ホーム等での依頼演奏、来日した海外の団体との交流もおこなっている。毎年3月におこなう定期演奏会では2,500人の来場者がある。2016年、台湾・嘉義市より招待を受け「嘉義市国際管楽節」に参加。2019年、マカオで「第1回澳日吹奏楽祭」に参加。2024年、滋賀県アンサンブルコンテスト滋賀県代表（3年連続）、滋賀県吹奏楽コンクール滋賀県代表、滋賀県マーチングコンテスト滋賀県代表（13年連続）。「イナズマロックフェス2024」オープニングアクトを務める。	タイ	派遣 80名	令和7年12月18日 ～12月22日 (5日間)	■日泰吹奏楽祭 タイ国バンコクにあるホーワンスクール吹奏楽部、カセサート大学吹奏楽団に学校訪問をして合同練習、また音楽ホールで「日泰吹奏楽祭」を開催するため、ホーワンスクール吹奏楽部、カセサート大学吹奏楽団と調整中である。また本校単独で、日本の文化を紹介できるようなコンサートをショッピングセンター、野外公園で開催予定。海外の学校との音楽交流を通じて、相互の理解と友好を促進するとともに、国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい人材を育成することを目的とする。	50万円
和歌山児童合唱団	和歌山県	少年少女の部（小学1年～4年生）、団員（小学5年生～高校3年生）の約80名が在籍。年間20回以上の公演を実施している。団体はじめ国の行事や県主催の行事での歌唱の機会を多く頂き、和歌山県民歌や和歌山市歌、地元和歌山のわらべ唄や子守唄、民謡を素材としたアカペラで芸術性の高い作品を積極的に演奏している。また、1959年より継続して定期演奏会を開催している。過去35回の海外演奏旅行（アメリカ・カナダ・中国・ロシア・オーストリア・ベルギー・イギリス・スペイン・ハンガリー・ドイツ・韓国・台湾・ブルガリア・エストニア）を実施し、コンクールでは数多く表彰を受ける。活動は個人の会費の負担や寄付で運営し、非営利団体である。将来的にも継続して活動していけるよう、幼稚園や施設への出張演奏などで合唱の輪を広めるよう励み、入団を募っている。	エストニア フィンランド	派遣 46名	令和7年7月2日 ～7月10日 (9日間)	■エストニア及びフィンランドへの海外交流演奏旅行 5年毎に開催している、世界最大にして最高の音楽祭であり、無形文化遺産に登録されている「歌と踊りの祭典2025」に、和歌山児童合唱団が海外合唱団として招待を受け参加する。音楽祭への参加の他、エストニアラジオ放送少女合唱団とジョイントコンサートを開催し、日本のわらべ歌や民謡等を披露。またフィンランドでは、世界的に活躍しているタビオラ合唱団とも、ジョイントコンサートやホームステイを交えて交流を深める。合唱を通して多感な時期の団員が、日本では経験することができない壮大な想いが込められた祭典に参加し、北欧の子供たちと心を通わせることで、視野を広げ、将来的に国際社会に貢献できる感性を育むことを意図している。	50万円
あくね太鼓 響流	鹿児島県	当団体は、日本の伝統文化和太鼓を阿久根市より発信するアマチュア団体。和太鼓教室並びにイベント参加等による演奏を行っている。また、鹿児島県太鼓連合、全九州太鼓連合、一社日本太鼓財団に所属し、イベント等に毎年参加している。これまでに、日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会、全九州日本太鼓ジュニアコンクール、日本太鼓ジュニアコンクールにて入賞実績がある。	台湾	派遣 6名	令和7年5月29日 ～6月1日 (4日間)	■あくね太鼓 響流 和太鼓演奏会 日本と台湾には、国中の太鼓団体をまとめる組織がそれぞれあり、お互いの国へ赴きコンサートや講習会等の交流がある。あくね太鼓響流の牧尾正臣代表も、毎年台湾で行われている「台湾和太鼓フェスティバル」に度々足を運んでおり、今回初めて台湾での演奏会を試みる。この演奏会を通して、日本の伝統音楽の一つとして太鼓を台湾の国民に周知し、国際親善、文化交流を目的とする。	50万円
今帰仁子供太鼓いまじん	沖縄県	当団体は1994年9月、県内で最初期の子どもエイサー団体として小学生13名で発足した。団員は多い時期で約50名、延団員数は400名を超える。村内、県内を中心にイベント出演や高齢者・福祉施設での慰問演舞、修学旅行生等へのエイサー体験指導、村内小・中・高校の運動会エイサー指導など幅広く活動してきた。特に沖縄文化の普及啓発と青少年の健全育成を大きな目標に掲げ、1996年からは海外（主に米国）での演舞や文化交流にも積極的に取り組んでいる。コロナ禍の影響により、2020～2022年の3年間は活動休止を余儀なくされたが、2023年から本格的に活動を再開し、現在は小学生を含む会員・指導員で活動している。	アメリカ	派遣 10名	令和7年4月9日 ～4月16日 (8日間)	■◀いまじん太鼓30周年記念事業▶沖米エイサー文化交流at National Cherry Blossom Festival 米国各地で活動している小規模の沖縄エイサーチームが、毎年4月のNational Cherry Blossom Festival（全米桜まつり）で一室に会し、合同チームとしてパレード演舞を行なっている。この桜まつりは、1912年に日本から米国ワシントンD.Cへ約3,000本の桜が贈られたことを記念し、1935年から開催され、日米友好の象徴的なイベントであり米最大の日本文化祭となっている。当団体は沖縄からエイサーチームの一員として参加し、現地のメンバーとの合同演舞・国際交流を実施。この機会を利用し、現地メンバーにエイサー指導も行う。また、いまじん太鼓設立30周年を記念して、リンカーン記念堂前での奉納演舞を行う。	50万円

【令和2年度延期分】1団体 助成金合計50万円

団体名	所在地	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
			交流相手	交流人数	日程	内容・目的（■印は申請書記載の事業名）	
長崎交響楽団	長崎県	1970年長崎港開港400年を記念して地域音楽文化の向上と青少年の情操教育に寄与することを目的として誕生。年2回の定期演奏会の他、離島・遠隔地巡回演奏等も手がける。1995年に米国の姉妹都市セントポール市へ訪問演奏を行い翌1996年セントポール市民交響楽団と日米初の姉妹オーケストラ提携を結んだ。	アメリカ	招聘 50名	令和7年6月予定 (6日間)	■長崎交響楽団 50周年記念「もってこい」コンサート2020 令和7年、長崎とセントポール姉妹都市提携70周年を迎える。長崎交響楽団の姉妹オーケストラであるセントポール市民交響楽団を招聘し、地域交流型演奏会に参加してもらい、音楽演奏を通じた国際交流を行う。滞在期間中は学校訪問による文化交流、ホームステイによる市民交流も行う。また同時期に開催されるお祭り「長崎くんち」にも見学・参加する。	50万円